

第9回全国自治体議会改革推進シンポジウム（仮称） たたき台**1 趣旨**

平成18年12月、三重県議会は、都道府県議会として初めて議会基本条例を制定し、今日まで、分権時代を先導する議会を目指して議会改革に積極的に取り組んできました。

そのような中、令和2年3月、新型コロナウイルスが世界的に大流行し、日本においても3月から5月にかけて第1波が、そのあと何度も感染拡大の大きな波が訪れ、社会経済に大きな打撃を与えるとともに、人々の暮らしや働き方までも大きく変わりました。

県民の皆さんの不安や悩みなどさまざまな声を吸い上げて執行機関に伝え、施策に反映させる議会の役割も、コロナ禍においてその重要性は増しています。また、災害時においても議会機能を十分に発揮させるという観点において、議会のデジタル化が求められています。

議会改革に終わりはありません。社会の変化に合わせ不断の見直しを行うことが必要です。新型コロナウイルスという危機を乗り越えようとしている今、これからの時代に求められる議会の在り方などについて考える場を設け、今後の議会改革の推進に資する機会とします。

- 2 名称** 第9回全国自治体議会改革推進シンポジウム（仮称）
- 3 開催時期** 令和4年2月中旬（平日の午後を想定）
- 4 場所** 県内のホテル、文化ホール等
- 5 参加者** 全国の自治体議会関係者等
- 6 テーマ** （例）「議会改革の本質とは～これからの時代の議会の在り方～」
- 7 日程（予定）**
- （1）開会（13:30 頃）
 - （2）基調講演（約1時間）
 - （3）パネルディスカッション（約2時間）
 - ・コーディネーター（大学教授等）
 - ・パネリスト（4名程度）
 - （4）閉会（17:00 頃）
- 8 連携・交流** 県内市町議会等との連携・交流を一層深める機会とする。
- 9 主催、企画・実施**
- 主催 三重県議会
 - 企画・実施 三重県議会議会改革推進会議